

伊豫田 貞雄 議員

市長の政治姿勢

Q 問 新市初代市長として、7項目の公約をしたが、その総括は。また、来年4月執行の市長選挙への意志は。

A 答 これまで、7つの言葉を掲げ取り組んできた。しかし、現在進行中の事業、これから取り組まなければならない事業もあることも承知している。今後は、明るい希望に満ちた袋井市の実現のために、引き続き市政の陣頭指揮をとらせてもらいたいと考えている。

債権対策

Q 問 税、負担金の滞納整理に対し、市の対応策は。

A 答 全庁体制による市税等収納対策本部を設置し、個別訪問による滞納整理に取り組む。

高橋 美博 議員

「心の病」を抱える職員がふえているが、対策に万全を期すべきではないか

Q 問 本市での「心の病」を抱える職員数、それによる休職者数はどうか。

A 答 平成20年度、心の病による病気休暇を取得した職員は7名である。その内、4名は既に復帰している。

Q 問 その原因をどうとらえているか。

A 答 業務の複雑、多様化等により、精神的ストレスや健康問題を抱えると考え。今後も職場内のストレス解消に向けて、さらに原因究明を行い、その対策に取り組んでいきたい。

Q 問 市が借地している土地を取得するか、処理するか、考えは。

A 答 用地の取得について施設ごと地権者と交渉しているところもある。借地状況の精査や取得の必要性について十分検討していきたい。



市が借地をしている愛野駅南駐車場

Q 問 メンタルヘルス講習等、対策の効果はどうか。

A 答 研修や診断、さらにカウンセリング事業を行うなど日ごろから職員の心のケアに取り組んでいる。また、職員が精神的な病気で療養を必要とした場合、上司から聞き取りを行い、本人の症状が回復するための環境づくりに鋭意努めているところである。心の病は当市にとっても大変重要な問題であるので可能な限り予防対策を考えていきたい。



市役所の1階フロア